

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.gmb.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)
証券コード	7214

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **GMB株式会社**

〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930

 **GMB株式会社**



GMB
REPORT



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第55期(平成28年4月1日~平成29年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。

代表取締役会長 松岡 信夫 代表取締役社長 佐々木 健

Q. 当期の業績について、教えてください。

A. 中国や欧州拠点での販売が順調。コスト削減努力と円高進行の影響で収益が改善。

GMBグループにおいては、中国や欧州拠点からの新車用部品の販売が順調に推移し、新設拠点では量産効果により採算も改善しました。また、不採算取引の見直しやコスト削減努力に加え、日本における輸入コストの減少やタイ工場の輸出採算の改善など円高進行の影響も受けました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が65,350百万円(前期比4.6%減)、営業利益は2,740百万円(同510.4%増)となり、経常利益は2,546百万円(前期は17百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,444百万円(前期は1,697百万円の損失)となりました。

Q. 現在の経営環境について、お聞かせください。

A. 自動車需要は中国や東南アジア等の新興国を中心に緩やかな拡大基調を維持。

世界経済は、欧州諸国の政治や為替変動、中国をはじめとする新興国経済の減速など不透明な状況が続いて

います。自動車需要については、中国や東南アジア等の新興国を中心に緩やかな拡大基調を維持するものと予

想しております。そのような環境の中、自動車部品業界はグローバルな競争が一層激しさを増すことが予想されますので、今後さらに海外での生産体制を強化しつつ、

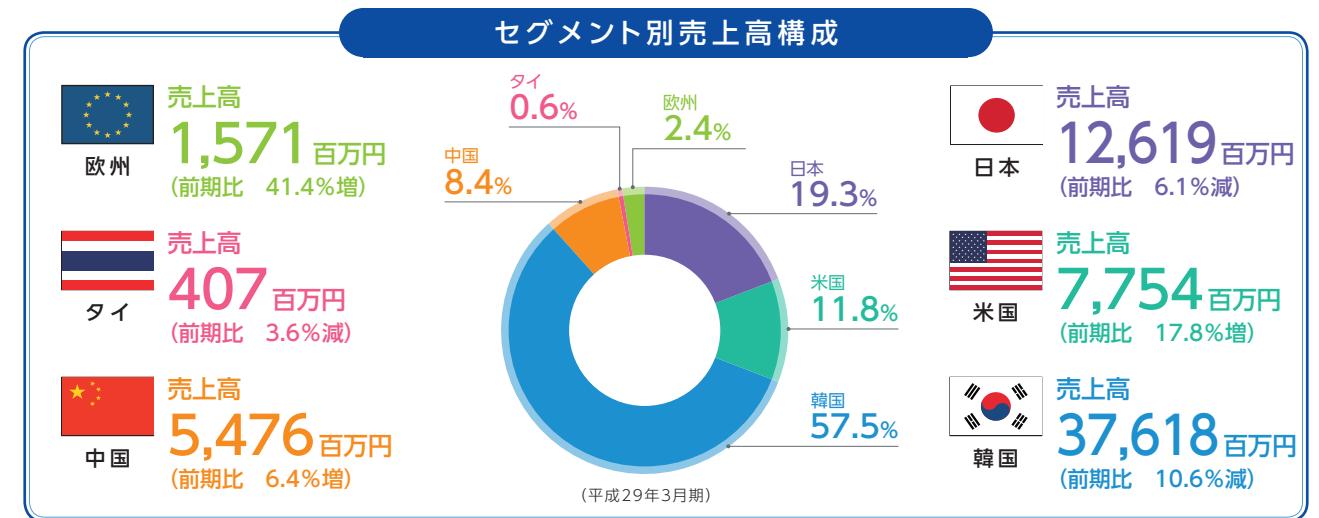
競争力を維持・向上させるためのコストダウンや技術革新をこれまで以上に推進していかなければならないと考えております。

Q. 来期の取り組みについて、お聞かせください。

A. 品質の維持と改善、コスト改善、不採算取引の見直し、新製品開発に注力。

新車用部品市場においては、引き続き新規顧客の開拓を進め、品質の維持と改善に努めてまいります。補修用部品市場においては、引き続き不採算取引の見直しや、コスト競争力強化をすすめることで、収益性の改善に取り組んでまいります。また、次世代に繋がる新製品や新技術の研究開発を推し進め、事業の拡大と事業環境の変

化に柔軟に対応できる体制の強化に努めてまいります。以上により、平成30年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高65,700百万円(前期比0.5%増)、営業利益2,250百万円(同17.9%減)、経常利益1,700百万円(同33.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益900百万円(同37.7%減)を計画しております。



Q. 配当方針について、教えてください。

A. 内部留保を確保しつつ、安定配当継続。

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、当期及び次期の配当金は、年間40円とさせていただきます。今後も業績動向を勘案しつつ、この水準を安定的に継続していく方針であります。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

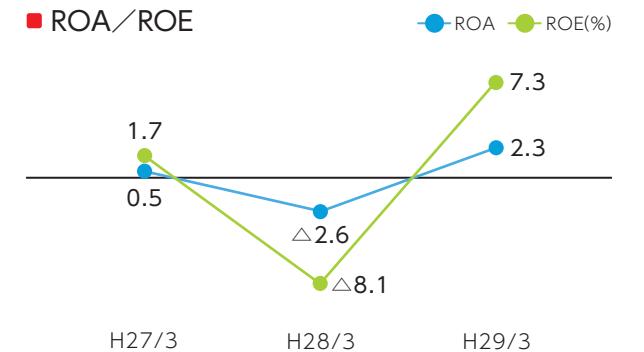
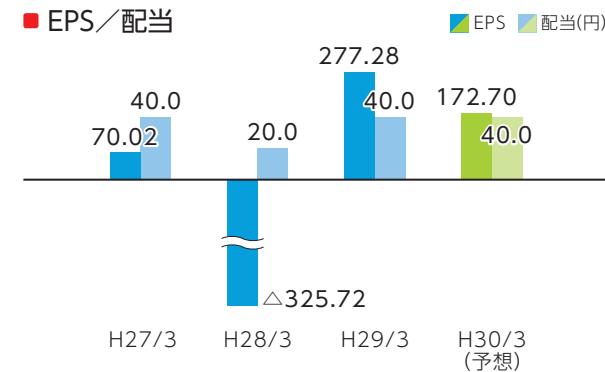
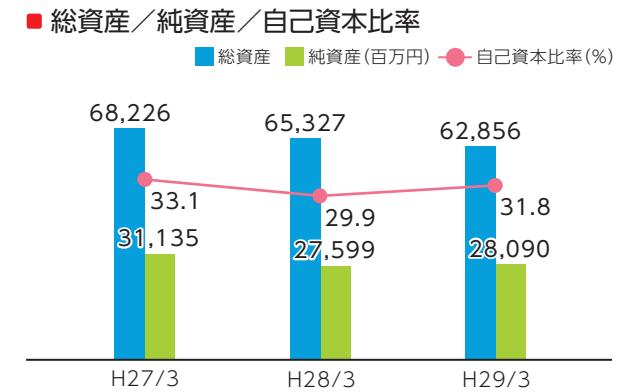
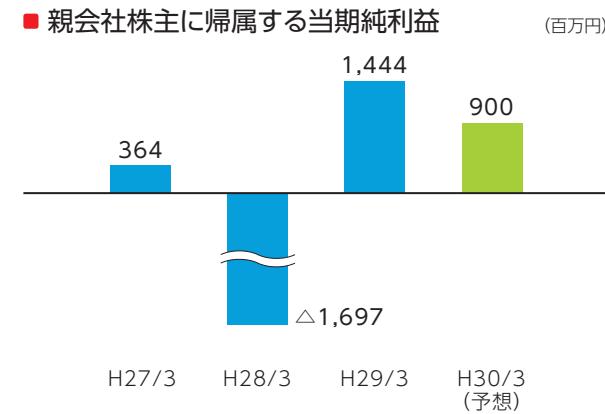
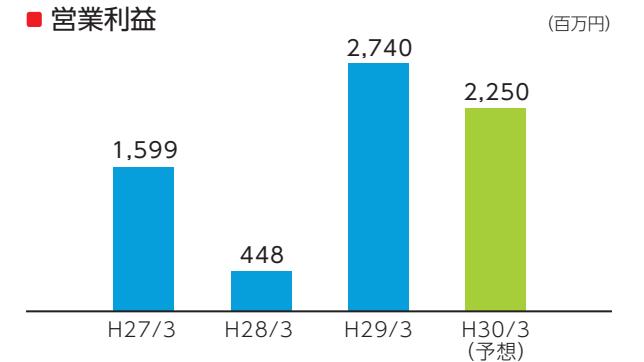
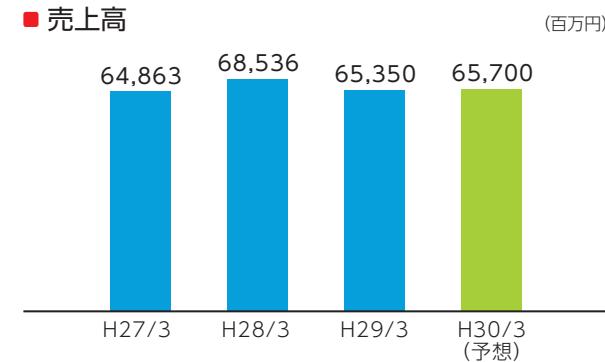
■ 今後の取り組みについて

次の成長の柱を育成

- 環境規制の強化や燃費効率へのニーズの高まりに対応して、自動車に関する技術も日々進化しております。GMBも開発の領域を以下のように広げ、次世代に向けた研究開発を推進していきます。
 - ・メカニック部品から電動化・制御系技術へ
 - ・電動ウォーターポンプを軸に研究開発を推進
 - ・エンジニアを育成・採用し、制御装置や射出品の内製化など、製品開発力と周辺分野への進出も加速

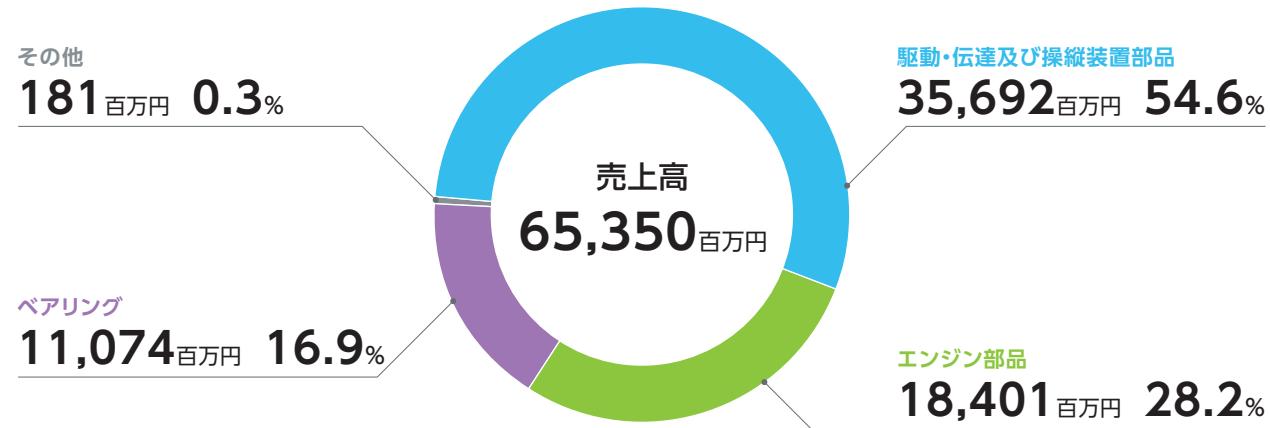
グローバル営業強化

- 既存製品の拡販による安定した生産量の確保をめざし、新規顧客の開拓をグローバルに推進します。特に欧州、中国、北米を重点市場として、以下のとおり営業活動を強化していきます。
 - 欧州
 - ・ルーマニア工場の増強
 - ・営業人員拡充
 - 中国
 - ・AT部品の拡販
 - ・電動化対応強化
 - 北米
 - ・大手顧客への納入本格化
 - ・生産拠点進出の検討



製品分類別の概況

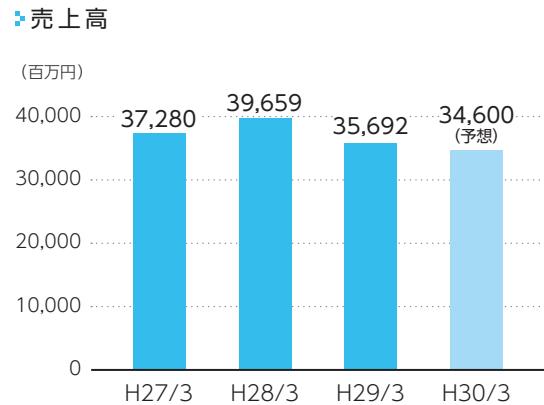
GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。



製品分類別売上高構成(平成29年3月期)

駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国での新車用バルブスプールや東南アジアなど海外補修用ユニバーサルジョイントが減少しました。



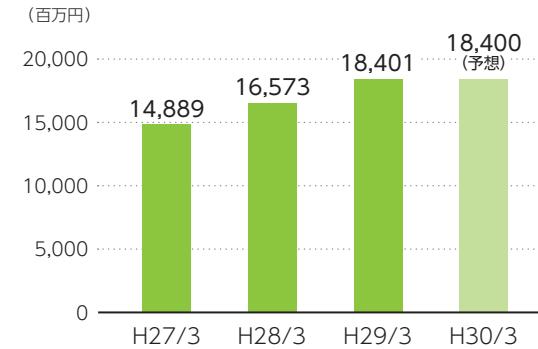
売上高 **35,692** 百万円 前期比 **10.0%** 減



エンジン部品

北米の補修用に加え、電動ウォーターポンプやルーマニア新工場の量産化により増加しました。

売上高



売上高 **18,401** 百万円 前期比 **11.0%** 増

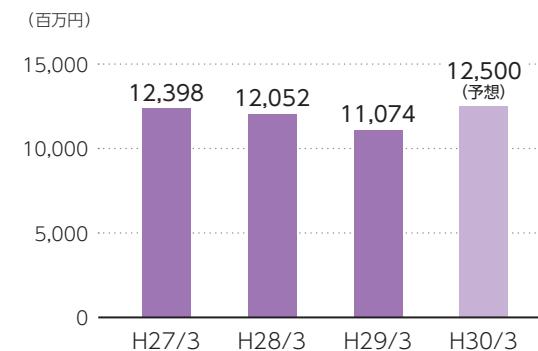
主な製品



ベアリング

海外補修用市場で主力のテンショナー・アイドラー・ベアリングの販売減少が続いております。

売上高



売上高 **11,074** 百万円 前期比 **8.1%** 減

主な製品



■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 平成29年3月31日現在	前期 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	35,544	36,068
POINT① 固定資産	27,311	29,259
有形固定資産	24,651	26,803
無形固定資産	449	445
投資その他の資産	2,210	2,009
資産合計	62,856	65,327

科目	当期 平成29年3月31日現在	前期 平成28年3月31日現在
負債の部		
流動負債	25,081	26,251
固定負債	9,684	11,476
負債合計	34,765	37,727
純資産の部		
株主資本	18,791	17,451
その他の包括利益累計額	1,213	2,070
非支配株主持分	8,085	8,078
純資産合計	28,090	27,599
負債・純資産合計	62,856	65,327

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	前期 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高	65,350	68,536
売上原価	53,890	58,245
売上総利益	11,460	10,290
販売費及び一般管理費	8,720	9,841
POINT② 営業利益	2,740	448
経常利益(△は損失)	2,546	△17
特別利益	57	6
特別損失	29	929
税金等調整前当期純利益(△は損失)	2,573	△940
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)	1,444	△1,697

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	前期 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
POINT③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,803	1,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,301	△5,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,061	2,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	△143
現金及び現金同等物の増減額	323	△1,201
現金及び現金同等物の期首残高	3,737	4,938
現金及び現金同等物の期末残高	4,060	3,737
フリー・キャッシュ・フロー	2,502	△3,146

当期のポイント

POINT ①

32億円の
設備投資を実施

当期は、韓国の生産拠点を中心に、生産能力の増強や新市場・新製品の開発を目的として総額32億円の設備投資を実施しました。

POINT ②

収益が改善

コスト削減努力に加え、日本における輸入コストの減少やタイ工場の輸出採算の改善など円高進行の影響も受け、収益が改善しました。

POINT ③

営業キャッシュ・
フローが増加

税金等調整前当期純利益が2,573百万円(前期は940百万円の損失)となったことや、仕入債務の増加額が969百万円となるなど、収入が増加したことによりです。

ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。



▲ トップページ <http://www.gmb.jp>

詳しい財務情報については、[IR情報ページ](#)をご覧ください。



▲ IR情報ページ http://www.gmb.jp/corporate/ir_info/

株式の状況

(平成29年3月31日現在)

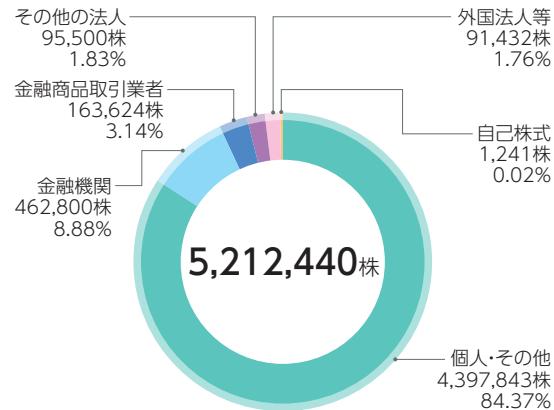
発行可能株式総数	19,000,000株
発行済株式の総数	5,212,440株
株主数	2,377名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 光子	416,375	8.0
松岡 栄子	240,350	4.6
GMB従業員持株会	174,370	3.3
松岡 祐広	120,000	2.3
松岡 祐吉	109,125	2.1
金本 順子	98,750	1.9
庄司 聖吾	93,250	1.8
松岡 百合子	86,625	1.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	83,000	1.6

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

(平成29年3月31日現在)

商号	GMB株式会社
会社設立	昭和37年5月
資本金	838,598,000円
代表者	代表取締役会長 松岡信夫 代表取締役社長 阪口有一
従業員数	連結 2,714名 / 単体 349名

役員

(平成29年6月23日現在)

代表取締役会長	松岡 信夫
代表取締役社長	佐々木 健
取締役副社長	香田 剛昌
専務取締役	金本 現一
専務取締役	桑村 周二
常務取締役	松岡 祐吉
常務取締役	松波 誠
取締役	大瀧 民也
取締役	善田 篤志
取締役	梁 亨恩
常勤監査役	大西 昭
監査役	浜本 章
監査役	中川 雅晴

事業所	本社・奈良工場 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930 Web Site http://www.gmb.jp
	八尾工場 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番地3号 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481
グループ会社	GMB NORTH AMERICA INC.(アメリカ ニュージャージー州)
	GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	AG TECH CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
	青島吉明美汽車配件有限公司(中国 山東省即墨市)
	吉明美(杭州)汽配有限公司(中国 浙江省杭州市)
	吉明美汽配(南通)有限公司(中国 江蘇省南通市)
	THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.(タイ プラチンプリ県)
THAI KYOWA GMB CO.,LTD.(タイ プラチンプリ県)	
GMB RUS TOGLIATTI LLC(ロシア サマラ州トリアッチ市)	
GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.(ルーマニア アルジェシュ県)	

GMBネットワーク

(平成29年3月31日現在)

